

媛の国から始める、人生 100 年時代、持続可能な共生社会を目指して ～愛媛県と各市町の取組み～



愛媛県、大洲市、松前町、四国中央市の男女共同参画に関する施策や取組みについて、各ご担当者の皆さんにお話いただきました。



愛媛県 男女参画・県民協働課 横山真紀さん

「愛媛県では、愛媛県版イクボスとして“ひめボス”の普及に取り組んでいます。ひめボスは従来のイクボスの定義に加え、愛媛の活性化を願い、愛媛で働く人を応援する上司を意味します。ワークライフバランスの向上や女性活躍推進に積極的に取り組む事業所については、“ひめボス事業所 plus+”として認定する制度も設けています。そのほか、男性の家事参画推進事業(カジダン)やコロナ禍における女性への支援施策(ひめはぴサポートプロジェクト)など、ニーズに応じた各種事業に取り組んでいます。」

大洲市 企画情報課 木村勇仁さん

「大洲市では昨年度からの取組みとして、“セカンドオピニオン『自分スタイルの発見』”と題して、市内外で活躍している女性を紹介する番組を作成しています。地域おこし活動に取り組む方や、看護師、消防士として市内で働く女性など、さまざまな分野で活躍している方々のお話を聞くことで、男女共同参画について考えるきっかけとなり、誰もが個性と能力を發揮できるような大洲市にしていきたいと思います。」



松前町 総務課 田中浩介さん

「松前町では“女と男が自分らしく輝いて暮らせる男女共同参画のまちづくり”を目標に各種施策を進めています。その取組みの一つとして、子育て世代包括支援センター『はぐはぐ』を令和2年に開設しました。子育てに関する情報発信をしているだけでなく、妊活期から子育て期までの間の相談窓口としても機能しています。また、妊産婦と子どもの健康記録・管理ができる子育て応援アプリ『はぐナビ』を導入するなど、町内の育児支援の充実を図っています。」

四国中央市 地域振興課 山川玲子さん

「四国中央市では、さまざまな分野に応じた男女共同参画施策を推進しています。育児に関する事業取組としては、四国中央子育てフェスタを毎年開催(令和2年度以降はコロナにより中止)しているほか、市男性職員による保育現場体験プログラムを取り入れるなど、子育てにやさしいまちづくりを進めています。また、市内のさまざまな企業で働く人の「ワーク×ライフ」を紹介するロールモデル集を作成するなど、誰もが働きやすいまちづくりにも力を入れています。」



今日も元気に発信中！わたしたちのまちの魅力

講師:生まれも育ちも大洲です。栗田百合子さん、清水恭美さん、中川雄一さん



(左から)中川さん、栗田さん、清水さん



大洲会場第3回目の後半は、YouTube や SNS を通じて大洲の魅力を発信しているグループ「生まれも育ちも大洲です。」のメンバーの皆さんにお話しいただきました。メンバーの皆さんはそれぞれ進学や就職を機に一度地元から離れたことがあり、そのときに改めて大洲の魅力に気づいたといいます。そして、生まれ育った大洲をもっと盛り上げたい！という思いから現在まで活動を続けてきました。それぞれ仕事もあり限られた時間の中で活動を続けている3人ですが、楽しみながら活動続けることを何より大切にしており、「自分たちが楽しみながら活動続ける姿を見て、少しでも大洲のことを好きになってもらえれば。」と語られました。最後に、これからの活動にかける思いとして、世代間交流を通じて地域一体で大洲を盛り上げていきたい、と受講生にメッセージを送られました。

受講生の感想

- ・こんなグループが大洲を盛り上げよう活動しているなんて、全く知らなかった。地域密着型でこれからもますます元気に活動されると思うので、応援していきたい。
- ・YouTube のチャンネルを見てもよかったです。これからも応援します。

わたしのまちの地域参画～農業女子たちのチャレンジ～

講師:からふるリーフ 代表 木下美穂 さん、葉れるや 代表 竹中伸枝 さん



木下美穂さん



竹中伸枝さん

レタスや枝豆を栽培する農家の木下さんが代表を務めるからふるリーフは、幼稚園生や小学性を対象にしたお料理会や農業体験交流会などを催しながら、地域の子どもたちの食育活動に取り組んでいます。この活動を通して将来的に地域の農業担い手育成に繋げることができたら、という目標もあるそうです。

シクラメンの花を栽培している竹中さんは、葉れるやの活動の目標の1つとして“女性農家を孤立させないこと”だと語られました。これまで、地域の農業社会では女性農家同士の交流は少なかったそうですが、葉れるやの活動を通じてさまざまな地域の女性農家のネットワークを広げることで、困ったときに助け合えるようになります。また、これまでになかった新たな視点から地域の農業をPRすることもできたそうです。

女性農家で力を合わせて地域の農業を盛り上げようと頑張る二人のお話を聞いて受講生の皆さんも元気や活力が湧いてきたようでした。

受講生の感想

- ・地域を農業で盛り上げるといのがとてもよかったです。地域の中でできることをやっていこうと思わせてくれるパワーをいただきました。
- ・実際に地域の中で活躍されている二人の女性のいきいきとしたお話にはとても刺激を受けました。

TOMONI 認め合う、私らしい生き方

講師:四国中央市男女共同参画推進ネットワーク会議 TOMONI

宮崎恵さん 久門美紀子さん 大西広志さん



(左から)久門さん、大西さん、宮崎さん



四国中央市男女共同参画推進ネットワーク会議 TOMONI は、四国中央市の男女共同参画社会推進を目的に、さまざまな年代・職種のメンバーが集まり、令和元年に設立されました。これまでに男女共同参画をテーマにしたトークライブを開催したり、地元高校演劇部とコラボして男女共同参画意識啓発ムービーを作成したりするなど活動を続けています。今回の講義では“適材適所ってなに？”というテーマで作成したドラマ&トークムービーを上映していただきました。講義の後半では受講生も交えて座談会を行い、「ゴミ出しは誰がする？」「食事は誰が作る？」「自分らしく生きるとは？」といったテーマをもとに活発に意見を出し合いました。メンバーの一人で TOMONI の初代会長を務めていた宮崎さんは「日常の中でふと疑問に感じることを、いろいろな視点で考えてみるのが大事。男(女)は～するべき、という固定概念が取り払われたら誰もが暮らしやすい社会につながる。」と講義を締め括られました。

受講生の感想

- ・自分らしく笑顔、ゆとりがつけられる社会、四国中央市になると嬉しい！と思いました。
- ・参加者の考えも聞くことができ、いろいろな世代の方の男女共同参画に対する思いが聞けて良かった。